進路通信
No.2

ー平成２７年５月２６日ー

貝塚市立第一中学校　進路通信
〒597-0071 貝塚市加神１丁目５番１号
TEL 072-422-1527　FAX 072-422-1271

生徒と保護者のための進路情報です。保護者の方も必ずご覧ください。

新年度最初の「定期テスト」返却

新年度になって最初の中間テストが終了しました。

学習計画から実際のテストを受けるまで、予定通りに進みましたか？

何度も何度も予定を変更し、中間テストをむかえた人も多かったのではないですか？

最初から、計画通りにはなかなかいかないものです。失敗を繰り返しながら、いつか、「うまく時間を使っているなぁ」と実感できるようになるまで努力を続けましょう。

さて、昨日からそのテストが返却されていますが、ただ単に得点が何点だったかで、一喜一憂(いっきいちゆう)していませんか？

返却されたその日に、できなかった所をもう一度見直ししてください。そういう意味では、返却されたテストをどう扱うかが、今後の学習に大きく影響していきます。

できなかったところを放置しないで、友だちや先生に聞いて、<u>わかるできるを増やしていく努力をしよう！</u> これが一番大切なことなのです。これからの授業にもその姿勢は生きてきます。

教　育　相　談　期　間　中

２２日から教育相談期間が始まりました。

学習に対する不安や悩み、友だち関係で困っていること等を担任の先生に相談しましょう。一人で問題を抱えているとどうしてもしんどくなってきます。少しでも人に打ち明けることによって、それだけでもすっきりしたり、また問題が解決することに結びつくこともあります。「こんなことは」と考えないで、話してみましょう。

☆「できない」と気づいた時が好機☆

はっきりいって中学生のみなさんは「見直し」は嫌いでしょう。点数を見て喜んだり、がっかりしたりして、そこで終わってしまうという人が多く見られます。

でも、定期テストでできなかった部分をそのままにしておくと、後々のつまずきの材料になってしまいます。そればかりか、高校受験の勉強をする時に、大きな負担がかかります。定期テストの結果から自分の弱点を認識しておくこと、そして、その弱点を埋めていくことが「見直し」なのです。

たとえば数学の場合、「文字式」を理解しないまま、「方程式」に進むと、当然その先の「連立方程式」も分からない、ということになります。勉強はつながっていくもの。だからこそ、一つひとつの単元を大切にする必要があります。

①間違いを認識　該当単元を復習　具体的には、どこを間違えたのかを確認して、その問題に該当する単元について、教科書やノートを見直しましょう。もしかしたら小学校で学ぶ内容が理解できていなかった、という場合があるかもしれません。それでもかまいません。恥ずかしがらず、気づいたときに復習して、きちんと理解しておけば、もう間違えずに済むのです。

②数日後、再び挑戦　自信つける　本当に理解できたかどうか確かめるため、復習して2、3日たってから、間違えた問題をもう一度、解きましょう。

正答した問題は、もう一歩ハイレベルの問題に挑戦するのも一つの方法です。

ただし、定期テストに出るのは主に、その単元で学んだ内容が理解できているかを確かめる問題です。それに対し、受験に出る問題の多くは、さまざまな要素が重なる複合問題です。だから、単元ごとの学習では、ハイレベルな問題を求めることよりも、むしろ基礎的な問題で確実に点がとれるように心がけることが大切です。できたことをしっかり受け止めれば、次への自信にもつながります。

③毎日の勉強が将来につながる　長かったテスト勉強も一段落し、部活に打ち込もうという人もいるでしょう。でも、勉強時間はゼロにしないように気をつけて。必ず毎日机に向かうクセをつけましょう。

勉強は本来、定期テストのためや受験のためにするのではありません。すべては自分が将来、生きていくために必要なことを学んでいるのだ、ということを忘れないようにしましょう。

（朝日中学生ウイークリー5/25）